

平成28年度日本小児外科学会
第3回定例理事会議事録

日 時：平成 28 年 9 月 13 日（火） 11：00～16：00

会 場：日本外科学会会議室

出席者：黒田達夫（理事長）、越永従道（副理事長）、仁尾正記（理事・会長）、
窪田正幸（理事・会長）、八木 實、漆原直人、米倉竹夫、奥山宏臣、山高篤行、
廣部誠一（以上理事）、上野 滋、濱田吉則、前田貢作（以上監事）、
菱木知郎（庶務委員長）、渡井 有（財務会計委員長）、藤野明浩（庶務副委員長）、
浦尾正彦（財務会計副委員長）、和田 基（庶務委員）、
村上 聡、仁田尾慶太（事務局）

議事案件：

議 事：

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は、廣部誠一理事、八木 實理事とした。
2. 平成28年度第2回定例理事会議事録につき、事前配信された内容について確認され、修正点等あれば1週間を目途に事務局に連絡することとした。
3. 報告事項
 - 3) 理事長報告（黒田理事長）
 - (1) 「戦争と医の倫理」の検証を進める会からの通信文「日本学術会議の軍事研究容認の動きを危惧し、反対する医学・医療関係者の声明」を受領した。
 - (2) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY vol46-8」を受領した。
 - (3) 日本製薬工業協会からの寄贈本「てきすとぶっく製薬産業 2016-2017」を受領した。
 - (4) 日本周産期・新生児医学会からの役員交代挨拶状を受領した。
 - (5) 厚生労働省 医薬・生活衛生局からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.335」を受領した。
 - (6) 東京医科歯科大学からの寄贈本「Annual Report 2016」を受領した。
 - (7) 日本化学療法学会からの役員交代挨拶状を受領した。
 - (8) 日本医師会からのDVD「第20回 日本医学会フォーラム 肝炎」を受領した。
 - (9) 日本専門医機構からの寄贈本「日本専門医機構ニュース No.1」を受領した。
 - (10) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「ニューズレター9月号」を受領した。
 - (11) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY vol46-9」を受領した。
 - (12) 日本医学会からの寄贈本「日本医学会分科会一覧」を受領した。
 - (13) 日本医学会からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.336」を受領した。
 - (14) 日本医学会連合からの通信文「日本医学会連合平成28年度定時総会議事要旨」を受領した。
 - (15) 日本専門医機構からの役員交代挨拶状を受領した。

(16) 日本医科器械資料保存協会からの通信文「平成 28 年度「医科器械史研究賞」受賞候補者の推薦依頼について」を受領した。

(17) 外科関連専門医制度委員会からの通信文「外科関連専門医制度委員会第 58 回総会&平成 28 年度第 3 回日本外科学会専門医制度委員会議事録」を受領した。主な内容は 1 年延期になったことと報告があった。

(18) 日本医学会からのポスター「第 150 回日本医学会シンポジウム」を受領した。

(19) 「イノベーター・オブ・ザ・イヤー」事務局からの通信文「第 3 回「イノベーター・オブ・ザ・イヤー」候補者推薦のお願い」を受領した。

(20) 日本逆流性腎症フォーラムからの通信文「第 25 回日本逆流性腎症フォーラム 演題募集のお知らせ」を受領した。

(21) 日本医学会からのポスター「第 21 回日本医学会公開フォーラム」を受領した。

(22) 川野小児医学奨学財団からの通信文「平成 28 年度第 17 回小児医学川野賞候補者推薦のご依頼」を受領した。

(23) ヘルシー・ソサエティ事務局からの通信文「第 13 回ヘルシー・ソサエティ賞 候補者推薦のお願い」を受領した。

(24) 厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課長からの通信文「「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」に基づく公募の実施について」を受領した。

(25) 日本医学会連合からの通信文「日本医学会連合研究倫理委員会提言(案)」について」を受領した。日本医学会連合研究倫理委員会が出す予定の提言について、本学会としても不正が無いように努力しますと回答を出したと報告があった。本件に関連して前田監事より、消化器外科学会の倫理指針が関連資料として配布された。本学会としても他学会が採用し始めている、演題申し込み時に倫理審査の項目を設ける方向性で検討をすることとなった。

4) 総合調整委員会報告（越永副理事長）

資料に基づき、以下の委員会報告があり、了承された。

① 学会の在り方と一般社団法人変更への準備について

本学会の将来像として、医師を中心とした学術集団として会員数の増加を図らなければならない。医師には、小児外科医のほか、心臓外科医、麻酔科医、小児泌尿器科医、小児科医などの参加も必要と検討されたと報告があり、まずは会員の意向調査を行う方向性が了承された。

② NCD 症例として海外施設での経験症例数もカウントできるようできないか？

現時点では認定施設・教育関連施設においてのみ研修において要件を満たすが、海外ではこの施設要件を充たすことは現実的に困難なため、本学会指導医取得のための症例として、現行の規則においても海外で経験した症例は NCD 未登録例とともに申請に使用することが可能とすることが望ましいと提案があり、了承された。

③ 学術集会プログラム委員会の役割とあり方

学術集會長の裁量を認めつつ、本学会が主導する継続的な企画が必要はないかと検討された。セミナーについては、学術集會時あるいは学術集會以外も含め、学会として一

貫性維持する観点から、教育委員会に統制を集約するのがより適切ではと提案され、了承された。

④ 前理事長の理事会メンバー化の是非

学会事業における継続性維持の観点から、本学会においても理事会に「前理事長」の参加は必要ではないかと提案され、内規の文言を改定する方向が了承された。

⑤ 学術集会抄録集の在り方と抄録検索ソフトの導入

学術集会抄録集の印刷冊子(ミニプログラム集は除く)は、購入希望者数および会長に必要な部数とすることとし、抄録集についてはアプリを導入することで代用する方向性が了承された。

⑥ 秋季シンポジウムのあり方について

見直しが必要な時期に来ていると報告され、引き続き検討を行うこととなった。

4. 審議事項

1) 学会抄録検索アプリのプレゼンテーションについて (渡井財務会計委員長)

渡会財務会計委員長より、前回アナウンスしていた学術集会時の抄録閲覧ソフトの検討のために、日本コンベンションサービス、マイス・ワン、アトラスの3社に集まっていたと報告があり、プレゼンテーションが行われた。

討議の結果、まずは日本コンベンションサービスに次回学術集会大会校の東北大学で打ち合わせ及び詳しい説明をしてもらうこととし、さらに検討を進めることとなった。

2) 第54回学術集会について (仁尾会長)

仁尾会長および和田庶務委員より、資料に基づき準備状況が報告提案され、以下のよう
に承認された。

(1) 総会の日程を会期3日目に開催することが了承された。

(2) Prem Puriの招聘について提案があり、承認された。Prem Puriの日程確保については再度確認することとした。

(3) 発表演題の賞について前回理事会で検討されたが、準備のスケジュール上第54回では難しいと報告があり、了承された。

3) 第55回学術集会について (窪田副会長)

窪田副会長より、資料に基づき準備状況が報告提案され、以下のよう
に承認された。

(1) 日程

理事会・評議員会：平成30年5月29日(火)

総会：平成30年5月30日(水)～6月1日(金)

教育セミナー：平成30年6月1日(金)～6月2日(土)

(2) 会場

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

(3) テーマ

「家族の夢を紡ぐ小児外科:次世代への提言」

(4) 招待演者

①Iftikar Ahmad Jan

Consultant & Head of Pediatric Surgery Zayed Military Hospital Abu Dhabi, UAE

②早崎 治明先生

新潟大学医歯学総合病院 小児歯科学分野

小児障害者への歯科治療

③鈴木 理絵さん(画家)

文化講演

(5) 理事長講演、会長講演、次世代への提言セッション

4) 第 32 回秋季シンポジウムについて (漆原実行委員長)

漆原実行委員長より、資料に基づき準備状況が以下のように報告され承認された。

当初想定した以上の演題が集まり、秋季シンポジウムの枠に収まらなかった演題に関しては、PSJM の演題として採択した。PSJM で採択された演題については秋季シンポジウムの演題とせず、研究会側の演題とすることとすることが確認された。

5) 庶務委員会報告 (菱木委員長)

菱木庶務委員長より、資料に基づき報告がなされ、承認された。

2016 年 8 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,840 名 (うち海外 3 名)、評議員 309 名、名誉会員 53 名 (うち海外 7 名)、特別会員 70 名 (うち海外 1 名) の合計 2,272 名である。

6) 財務会計委員会報告 (渡井委員長)

渡井委員長より、今回特に報告がない旨述べられた。

7) 各種委員会報告および審議事項

(1) 機関誌委員会 (奥山担当理事)

奥山担当理事より、資料に基づき、以下の報告・提案があり承認された。

・転載許諾 3 件許可

・論文投稿・採択状況 (2016. 7-8)

新規投稿 15 編 (原著 5、症例報告 10) 査読者辞退 4 人、採択 17 編、不採択 7 編

・超過料金について

理事会の承認により、来年 1 月 1 日より、投稿規定の該当部分を、以下のように改訂することになった。

「10. 掲載料, 別冊代金, 図表作製料

掲載料として一律 10,000 円を申し受けます(依頼原稿はこの限りではありません)。

また原著, 総説は刷り上り 4 頁まで, 症例報告は同 3 頁までを無料とし, 超過分は 1

頁 15,000 円を著者負担とします。地方会・研究会の抄録は 1 頁 15,000 円です。」

・ JSPS 学術集会最優秀論文賞 (JSPS Prize) の創設について
前回理事会で承認されている JSPS 学術集会最優秀論文賞について内規を作成したと報告があり、承認された。

1. 対象は小児外科学会総会発表演題のなかで、PSI に投稿された論文とする (年齢制限は設けず、Prize に応募するかどうか投稿時にチェックしてもらう)。
 2. 前もって査読者が点数をつけて、pubcom が集計して、優秀論文を 2-3 つに絞って理事会に推薦する。
 3. 推薦された論文を事前に理事がチェックして、投票により Prize 候補論文を一つ決定する。(共著者となっている場合は投票より外れる)
 4. Prize 候補論文が pubcom でアクセプトされることを確認して、理事会で最終決定する。
 5. 賞金は学会より 10 万円とする。
- また、授賞式には賞状と副賞 (上記賞金) を渡すこととした。

(2) 国際・広報委員会報告 (黒田担当理事)

黒田担当理事より、以下の報告があり承認された。

- ・ガイドライン掲載について、HP およびメール配信を行っているという報告があった。

(3) 保険診療委員会 (廣部担当理事)

廣部担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

- ・平成 30 年度診療報酬改定要望の進捗状況について、メール審議で要望項目を選定中であり、技術新設(5 項目まで)と技術改正(8 項目まで)を最終的に選定し、結果については 11 月中に日本外科学会および外保連へ提出する予定であると報告があった。
- ・外保連による技術評価適正化のための手術に関する調査の協力依頼が8月10日に届いたと報告があり、本学会からはアンケート調査中の 3 術式(K528-3 胸腔鏡下先天性食道閉鎖症根治手術 7、K674-2 腹腔鏡下総胆管拡張症手術、K715-2 腹腔鏡下腸重積症整復術)のデータを提出すると回答したと報告された。
- ・日本小児期外科系関連学会協議会の一般社団法人化について、9 月 8 日、平成 28 年度第1回日本小児期外科系関連学会協議会定例会が開催され、一般社団法人化の理由と提案があったと報告された。今後もさらに維持費がかかるため年会費(現在 1 万円)を値上げする可能性があることがあると説明され、もし値上げがあっても協力する方向で承認された。

(4) 教育委員会 (山高担当理事)

山高担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

- ・第 33 回日本小児外科学会卒後教育セミナー及び第 8 回日本小児外科学会内視鏡手

術セミナーについて

第 54 回学術集会に合わせて、平成 29 年 5 月 13 日(学会終了後の夕方から、仙台国際センターにて)、14 日(終日、会場未定)に開催を計画している。

卒後教育セミナーは連続 3 回(3 年間)のセミナーで 1 シリーズを構成する内容となるが、今回は第 3 回となり「腫瘍」をテーマに開講する予定である。

又、内視鏡手術セミナーについては、例年通り 1 噴門形成または脾臓摘出、2 基礎的な内視鏡手術の二本立てを予定している。

両セミナーの日程を『小児外科学会雑誌』52 巻 7 号(2016 年 12 月 20 日公開)の会告頁で通知、詳細情報については、53 巻 1 号(2017 年 2 月 20 日公開)に掲載予定である。

(5) 悪性腫瘍委員会 (米倉担当理事)

米倉担当理事より、資料に基づき以下の報告・提案があり承認された。

・登録システムについて

日本小児血液・がん学会疾患登録、日本小児外科学会悪性腫瘍委員会登録、小児がん全国登録の登録システムについて、主体を日本小児血液・がん学会の疾患登録とし、日本小児外科学会はそれからweb登録としてリンク先に設定されるという条件として提案予定であると報告された。

また、登録事業内容の存続形態について統合して後も、現在の日本小児外科学会の悪性腫瘍登録の内容をある程度担保しつつ統合する方向性へ持っていくべきと検討され、引き続き検討を行うと報告された。

(6) 学術・先進医療検討委員会 (八木担当理事)

八木担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

・会員対象のアンケート調査依頼の審査および認可

4 案件を承認、1 案件につき再検討依頼を行っているが再提出がない。

・ガイドライン承認規定、及び、パブコメ受付規定について

「診療指針(ガイドライン)およびこれに準じた研究成果の承認に関する規定」、「診療指針(ガイドライン)のパブリックコメント受付に関する規定」が9月12日付で本会理事会で承認されたと報告があった。

(7) 倫理・安全管理委員会 (漆原担当理事)

漆原担当理事より、今回特に報告がない旨述べられた。

(8) データベース委員会 (米倉担当理事)

米倉担当理事より、資料に基づき以下の報告があり承認された。

・NCD 登録データの自施設のデータダウンロードについてメール審議を行い、データが漏れないように、施設の教育をするという方向性が示された。

- ・今後のNCD-小児外科領域会議について、以下を予定している。
日時:2016年10月28日(金)(イブニングセミナー終了後 18:35-19:05)
場所:ソニックシティ 大ホール
議題:自施設のデータダウンロード, Site visit
- ・2011-2012年度アニュアルレポート学会誌掲載を行う。
- ・今後のアニュアルレポート会議について、以下を予定している。
日時:2016年9月12日(月)
場所:NCD事務局
議題:2013-2014 アニュアルレポート報告書、2015 NCD-P 解析方針の検討
- ・今後のDB委員会について、以下を予定している。
日時:2016年10月10日(月)
場所:AP品川
議題:第4回 NCD-小児外科領域会議の内容決定等
- ・データの2次利用のルール作りとして、データベース委員会を中心とした関連領域の庶務も含めて、まずはワーキンググループを立ち上げる方向性が了承された。

(9) 小児救急検討委員会 (奥山担当理事)

- 奥山担当理事より、以下の報告・提案があり承認された。
- ・PALS講習会(平成28年9月18・19日)については応募者がいなかったため、中止とした。今後は広報活動の内容について検討を進めていくこととなった。
 - ・来年の救急セミナーの内容は、日本小児救急医学会の災害セミナーの講師を呼んで1時間の内容で調整中であると報告された。

(10) 利益相反委員会 (漆原担当理事)

- 漆原担当理事より、以下の報告・提案があり承認された。
- ・学会HPのCOIについて次回委員会で検討を行う予定である。

(11) ワークライフバランス検討委員会 (廣部担当理事)

- 廣部担当理事より、資料に基づき、以下の報告・提案があり承認された。
- ・第4回講演会予定
PSJM2016(大宮)で2016年10月27日19時~20時に開催予定である。
講師:カルビー株式会社社会長兼CEO 松本晃氏
タイトル:「Just Do It ~やるっきゃない~(仮題)」
日本医師会からの支援金を申請する予定である。

(12) トランジション検討委員会 (八木担当理事)

- 八木担当理事より、資料に基づき、以下報告があり承認された。
- ・移行期支援ガイドブック

国立成育医療研究センターが主管である小児慢性特定疾病児童成人移行期支援モデル事業から冊子化の支援をうけることになり、現在印刷中である。

印刷数は

- ①小児系の移行期に関する学会や班研究に従事する人数を概算し、約 80 名
内訳:小児科学会移行期 WG およびその分科会 20、小児血液・がん学会移行支援 WG12、厚労科研田口班(難治性疾患研究克服事業)24、小慢移行期支援モデル事業(成育)25
- ②カウンターパートナーとしての成人領域学会およびその分科会 約 20
内訳:日本医師会、日本内科学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本肝胆膵外科学会、日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会、日本臨床外科学会、日本泌尿器科学会、日本産婦人科学会、日本形成外科学会、日本脳神経外科学会、日本整形外科学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本外科代謝栄養学会、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
- ③小児外科学会理事・会長・副会長・監事・+トランジション検討委員(新・旧) 約 25
最低数として上記 1+2+3 で 120~130 部となるため、余裕をもって 200 部としたと報告があり、承認された。
- なお、一般の小児外科学会評議員、会員に対しては HP 上への掲載で周知する方法を検討中と報告があった。

(13) 規約委員会 (越永担当理事)

越永担当理事より、今回特に報告がない旨述べられた。

8) 選挙管理委員会報告について (菱木委員長)

菱木委員長より、第 23 回評議員選挙公示文書が示され、例年に沿ったスケジュールで実施する予定との報告があり了承された。

また、女性評議員の立候補を促す策については、理事長メッセージとして検討することとなった。

9) 次回定例理事会日程の確認(黒田理事長)

次回理事会は平成 28 年 10 月 26 日 (水) 10:00~14:00 ソニックシティ会議室 905 にて開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____